



学問探究 チュートリアル

総合科目〔学士基盤科目〕
2025年度 第2期生募集

未来の扉、開けてます。



筑波大学
University of Tsukuba

その扉の向こうには何があるのでしょうか？大学に入学したばかりの皆さんの前には、無限の可能性が広がっています。いまあなたは、大学の学問という扉の前にいます。大学には、様々な学問とそれを専門とする多くの研究者がいます。しかし、これからの学問はこれまでと同様にはいきません。これからの学問を創るのはあなたです。本当に取り組むべきあなたの問いを見つけ、どうやってそれを解決すればよいかを教員と一緒に考えて、それがチュートリアル学修です。あなただけの扉を開けて、あなたの学問という道を創ってみませんか？

つくば型チュートリアル学修

学士課程にいる皆さん自身が立てる問いに向かう学修のため、皆さんの学修を実現できるよう、筑波大学は2024年度からおよそ10年間をかけてチュートリアル学修を導入していきます。創造性豊かな思考力と行動力で未来をデザインできる力が育つように、皆さん一人一人が主体的でオーダーメイドに学修できる場を整えます。

「学問探究チュートリアル」

総合科目(学士基盤科目)履修者定員40名

筑波大学が導入していく、つくば型チュートリアル学修の第一歩として、2024年度に本学が初めて開設するのがこの科目です。本科目は、入学初年次に図の①②の実践をしてみます。自らの問いを定め、それに関連しそうな様々なことを広く知り教養を深め、思考の基礎を造ることを試みます。チューター教員*との協働作業で学修に挑みます。

*チューター教員

世界の第一線で学問分野を切り開いている本学の教員がチューター教員として、学生一人一人の考え方を育てるお手伝いをします。グループでのワークショップや、少人数での個別の対話をします。また、2年次以降も少人数で個別の対話をする教員もチューター教員と呼ぶことがあります。

**アドバイザー教員

学生自身の依頼やチューター教員による紹介に応じて、具体的な専門に関わる内容について、学内外の研究者からアドバイスを受けるしくみ。

「学問探究チュートリアル」はこのような皆さんを待っています

本学に入学してきて、大学らしい学びをしてみたいけれども、どのようにしてそれを見つけて進めていくのがよいかはまだよくわからない人、「自分には何か足りないぞ」と思った人、やれば何かはできると思っているけれども、自分自身のありようがまだよくわかっていないという気持ちが強い人、知的な取り組み合いをしたいという人は、本科目での実践が役立つかもしれません。すでにこんな研究がしたいと方向が定まっている人は、先導的研究者体験プログラム(ARE)やエンブリオ・プログラムへの参加も検討してみてください。

その学修活動を、図の①から⑥までの流れで整理しています。初年次のうちは自らの問題意識を問いとして定め、広く教養を深めて思考の基礎を造ることから始め、年次を経るごとに専門性を増していきます。あなたならではの広く深い学修を個別指導でサポートしていくのが、つくば型チュートリアル学修です。

学修プロセス

④ 専門分野で問いをさらに究める

年次も進み、問いをその専門分野の教員の指導の下で究めます。問いが自分の学群・学類の専門分野に近ければ、その教員が指導に当たることになるでしょう。新たに学修アドバイスを受けることも大いに可です。

③ 智を活かし創造力を鍛える

問いを解く手がかりになる知識や知恵を学び学究のための基礎を造ります。学内の講義科目も積極的に使う計画も立ててみます。様々な知識を縦横に絡め、創造力も鍛えます。ここでもチューター教員*が相談にのります。学修アドバイスも受けられます。

② 問いを定め、多様な専門分野の広がりから学ぶ・気づく

「学問探究チュートリアル」で自分自身の問題意識を醸成し、問いを定めてみます。それを様々な専門分野から見つめ、視野を広げて気づきを得ます。必要に応じて学修アドバイスを学内外の研究者から受けることもできます。

① 自らの問題意識はどんな問いを導く?

究めてみたいと思うことは何かを考え、これを種に「学問探究チュートリアル」でチューター教員と協働で思考を深めて視野を広げ、気づきを得ます。

⑥ 現場での学びを得る

様々な企業や団体が実施するインターンシップに参加すると、問いの源になる現場を体験できます。

⑤ 学士課程での学修を総括する

最高年次に近づくにつれ、個別指導的な探究やゼミなどが増えていきます。それまでの学修を総括していきます。

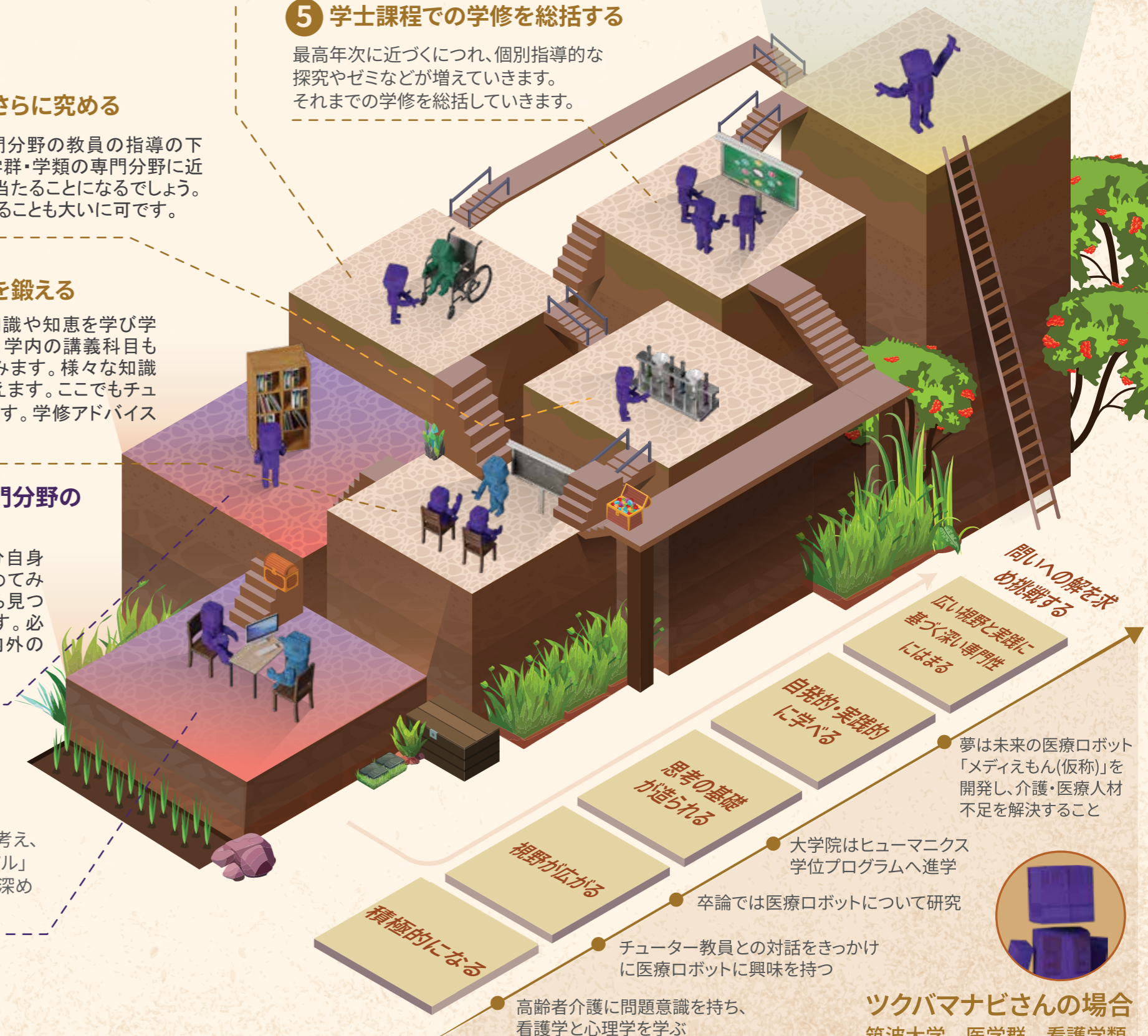
未来社会の
デザインに貢献

地球規模課題の
解決に貢献

社会で活躍

大学院進学

〔創造的〕デザイン思考



● 夢は未来の医療ロボット「メディエもん(仮称)」を開発し、介護・医療人材不足を解決すること
● 大学院はヒューマニクス学位プログラムへ進学
● 卒論では医療ロボットについて研究
● チューター教員との対話をきっかけに医療ロボットに興味を持つ

● 高齢者介護に問題意識を持ち、看護学と心理学を学ぶ

つくばマナビさんの場合
筑波大学 医学群 看護学類

2024年度「学問探究チュートリアル」履修生の声

人文・文化学群 比較文化学類

普段は話す機会がない先生方と個別対話を行い、**自分の知らない知識や調査方法、着眼点からの考え**を伺うことができました。また、他学類の先生と交流する中で**様々な分野に興味を持つようになり学びが深まりました。**

人間学群 教育学類

ここまで**自分の興味関心と向き合い、言語化する**のは初めてでした。他の学生や先生方と対話し、自分の言葉で整理する中で、やりたいたことが明確になり、**今後の方向性が見えてきました！**

生命環境学群 生物学類

今までで一番自分の意見を持ち、**相手と議論できた感覚があり、とても楽しかったです。**相手の意見を尊重しようという大前提が提示されていたおかげで、安心して話ことができました。多くの視点、興味関心、一人ひとりの考え方を知ることができて有意義でした。

生命環境学群 生物学類

グループでの議論や個別対話等のワークで、**人と対話することの大切さ**を学ぶことができました。また、個別対話を通して、**自分の興味のある分野について、深掘りできるポイント**をたくさん発見でき、魅力的な授業でした。

社会・国際学群 国際総合学類

先生方の「学究人生紹介」では、大学から就職以外の道もあることを教えてくれました。先生も完璧な人間ではないことを知れて面白かったです。**すべての体験がこの授業でしかできないもので、自分の学修意欲を刺激してくれました。**

人文・文化学群 人文学群

今後の研究のガイダンスのような授業だと感じました。この授業で身につけた様々なことが今後役に立つと考えます。特にポスターセッションや研究の目的の明確化、定義づけ、教授との個別対話が**今後の研究や学修に役立ちそう**と感じました。



このようなみなさんを待っています！

本学に入学してきて、大学らしい学びをしてみたいけれど、どのようにしてそれを見つけて進めていくのがよいかがまだよくわからない人、「自分には何か足りないぞ」と思っている人、やれば何かはできると思っているけれども、自分自身のありようがまだよくわからないという気持ち強い人、知的な取っ組み合いをしてみたい人は、本科目での実践が役立つかもしれません。

詳しくはこちら→

履修希望者が40名を超える場合、アンケートをもとに選考を行います。詳しくは、QRコードや、本科目のシラバスをご覧ください。



科目情報

科目名	学問探究チュートリアル
開設学期・曜時限	春B・水3、4限 春C～秋AB・応談 ※個別対話の日時は相談して決定
単位数	1単位
募集定員	40名

連絡先

チュートリアル学修推進委員会
Email: tutorial.edu@un.tsukuba.ac.jp
<https://tutorial.edu.tsukuba.ac.jp>